

2027年度 学生募集要項

青山学院大学

大学院 社会情報学研究科

博士前期課程

クレジット・トランスファー入学試験

青山学院大学大学院社会情報学研究科 教育研究上の目的

人材養成上の目的

インターネットやウェブに象徴される現代社会では、情報システムそのもの、情報システムと人や組織との係わり方、あるいは人や組織や社会そのものに係わった明暗様々な問題が止め処なく噴出し顕在化している現状があり、そのような問題の本質を見抜き、自らが問題解決を図れる人材の養成が火急の課題となっている。明らかに、そのような人材の養成は、学部レベルの教育に加えて、更に広い視野に立って精深な学識を授け、社会情報学分野における研究能力を、あるいはその学識に加えて高度の専門性を求められる職業を担うための卓越した能力を有する高度な人材養成を目的とする社会情報学分野の博士レベルの教育体制を整備することにより達成できると考えられ、このような目的を達成するために社会情報学研究科は設置されている。

教育目標

知識基盤社会が抱える幅輻した社会問題を認識し、理学、情報科学、経済学、教育学といった多様な観点から自らが総合的・包括的に問題解決を図れる人材を、既設学部の卒業生のみならず、問題意識を実社会において体感している職業人を入学者と想定して教育にあたることを目的とする。この目的を達成するために、本研究科には社会情報学コースとヒューマンイノベーションコースを置くが（これらのコースの詳細は後述）、前者においてはどちらかと言うと文系、理系という枠組みを超えた視点から問題解決を図ることのできる能力を身につけた高度な人材を養成することが狙いであるのに対して、後者は既に職業人として問題意識を有している者に対して、言わばリカレント教育を受けることにより、自らが問題解決を図れる能力を身につけた人材を養成しようとするところが異なる。しかしながら、そのような違いはあれ、社会情報学研究科の狙いは、人材養成上の目的欄（前述）で示したとおりであり、具体的には次に掲げる「履修モデル」を通して教育目標がどこにあるのか例示する。

■ 履修モデル1

履修モデル名：数理・情報に関して精深な学識を有する高度なアナリストの養成

履修モデルの趣旨：社会科学系の高度な人材養成を目指した履修モデルである。経営・経済概念の深い理解、社会活動、経済活動の分析を重視している。社会政策領域では経済政策の担い手の養成に役立つこと、金融ファイナンス領域では金融アナリストの養成を念頭に置いている。文理融合の本コースだからできることとして、理論と実践の融合により情報技術を駆使した大量データの分析、論理的な取り組みや理論的背景を理解させる教育課程により、「なぜ？」の説明ができる高度な人材の養成を念頭に置いている。

■ 履修モデル2

履修モデル名：人間・社会・情報に関して精深な学識を有する高度な組織マネジャの養成

履修モデルの趣旨：人間・社会・情報融合系の高度な人材養成を目指した履修モデルである。人や社会を考える上で必要となる心理や教育に関する基盤の修得、数量的なものに限らず質的な情報の処理能力の修得を目指している。人間・社会・情報融合系からの展開では、人と人、社会と人のコミュニケーションのあり方や組織の設計、組織における意思決定や知識の有効な活用法、経済活動がもたらす人間社会への問題の発見と解決能力の養成に留意し、本コースだからできることとして、経済活動と直結した人間心理の解明、企業や政策における人的要素の解明、そして知識基盤社会が人間に及ぼすさまざまな影響の解明ができる高度な人材の養成を目指している。

■ 履修モデル3

履修モデル名：組織に関して精深な学識を有する高度な情報システムスペシャリストの養成

履修モデルの趣旨：情報科学系の高度な人材養成を目指した履修モデルである。数理的な基盤、情報を高度に利用するための基盤の修得や、情報システム構築のための幅広い素養を身につける。情報科学系からの展開としては、人や社会に関する問題を理解できる数学・情報教育の担い手の養成、情報通信技術を駆使した地域社会創生の担い手の養成、高度な情報システム設計能力を持つシステムエンジニアの養成等を念頭に置いている。加えて、本コースだからできることとして、組織や心理を理解したシステムエンジニアの養成、企業や政策を理解したシステムエンジニアの養成、社会ニーズの技術への反映を意識できるシステムエンジニアの養成等がその特色となる。

■ 履修モデル4

履修モデル名：学習のサイエンスとデザインの学識と実践力を持った非営利組織系の高度な人材養成

履修モデルの趣旨：医療看護、介護福祉、アート、教育など、さまざまな公益・非営利団体系の人材像を想定した履修モデルである。持続可能な社会における公共性の担い手として、共同体への参加そのものが学習であり、高度な知性が創発されることを知り、これらとワークショップデザインや学習環境デザインが深く関係していること等、真の学びから生成されることを学習する。そして、人と人、人と組織・集団、人と地域社会、組織・集団と地域社会を結びつける能力や職場の在り方や活動を見直したり、再構成したり、組織変革ができる能力を有する高度で実践的な人材の養成を目指している。

■ 履修モデル5

履修モデル名：学習のサイエンスとデザインの学識と実践力を持った企業法人系の高度な人材養成

履修モデルの趣旨：企業法人系の人材像を想定した履修モデルである。組織内・組織間での協働を活性化する創造的な組織デザイン、組織活動を成功に導く人材育成のための学習システムの開発やファシリテーション技法などについて専門的かつ実践的な能力を有する人材の養成をめざしている。

教育課程

社会情報学分野の人材に求められる専門性については、社会情報学を究めようと欲する者の2つの側面に着目して、体系的な教育を展開する。一つは、社会情報学をより専門性を高めて精深に授けることにより当該分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担える人材を養成するという一般的な側面であり、もう一つは、特に入学する者が既に学校機関、公益・非営利団体、企業法人等の領域にフィールドを持っている「職業人」に対しては、学習集団や組織を自律的に動かすために必要な協働的な組織環境や学習環境のデザイン能力、あるいはお互いに学び合い創発し合うコミュニケーションの促進能力を備えた人材を養成するという側面を有すると考えられる。具体的には、これら2つの側面に留意して、社会情報学研究科は全体としては1つの専攻（社会情報学専攻）に2つの専修コース「社会情報学コース」と「ヒューマンイノベーションコース」を設けている。専修コースの内容は以下のとおりである。

社会情報学コース：

人文・社会科学と理学・情報科学が融合して出来上がる社会情報学をより高度に学ぶということは、いわゆる文系、理系の枠を超えた識見を有することであるとの認識により、現代社会が抱えるさまざまな問題点を自分の力で見つけて、問題解決できる人材を養成できると考えられる。このような能力は、現代の輻輳した社会において、ファイナンス関連、経済や地域政策関連、情報システム関連等、あらゆる分野で活躍しようとする人々にとって必要不可欠なものとなっている。従って、このコースでは社会情報学に対して広い視野に立って精深な学識を身につけ、当該分野における研究能力又はこれに加えて高度に専門的な職業を担える人材が養成できる。

ヒューマンイノベーションコース：

さまざまな現場の「学び」をめぐる課題・可能性を、実証的な方法で読み解き、それを人・組織・社会の変革=イノベーションへと結びつけることのできる人材の育成に重点を置いたコースである。認知科学を中心とした人・組織の「学び」に関する最先端の理論と研究方法を理解し、それを人材育成、組織変革、学校教育、医療・看護、地域活性化、コンサルテーション、NPO活動、行政サービスなどさまざまな現場の実証的かつ実践的な解明に結びつけることのできる、高度な研究力量を身につけることを目指す。

教育研究環境

社会情報学研究科は開かれた大学院として、社会情報学コースでは一般に広く既存の学部卒業生を入学者と想定しているのに対して、ヒューマンイノベーションコースでは主として学校機関、公益・非営利団体、企業法人等の領域にフィールドを既に持っている職業人の入学を想定している点が異なる。その違いは、いずれのコースを修めようとも、徹底した少人数教育を行える点では顕在化しないが、社会情報学コースにあつては、基礎科目、専門科目、特殊科目、研究指導を履修していくに際して、特殊科目ではインターンシップを自由科目として設定し、現実社会での問題点を体感して、社会情報学が取り組むべき問題を自らが発見し、問題解決に取り組む学生の育成に留意している。本コースの学生は、相模原キャンパスで展開される科目を履修し、修了にあたっては修士論文を課している。一方、主として職業人の入学を想定しているヒューマンイノベーションコースにあつては、現場の理解とイノベーションの基礎となる認知科学関連科目の履修を勧めることは当然として、特に演習科目・実習科目において、フィールド学習を積極的に取り入れた多様な教育方法を展開することにより、専門的な知識や技能の習得と実践的な現場理解を統合的に捉えられる学生の育成に留意している。本コースの学生は青山キャンパスで展開される科目を履修すると共に、情報通信技術(ICT)を用いた学習支援の整備を徹底して、職業人である学生の教育の質保証を図る。本コースでは、修士論文、若しくは特定の課題についての研究の成果を課している。

社会情報学研究科 博士前期課程 3つのポリシー

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

①知識・技能

- ・研究テーマに関連する学部卒業相当の知識および技能を有している。

②思考力・判断力・表現力

- ・学部卒業相当のレベルで研究計画の立案、研究の実施、論文の執筆ができる。

③意欲・関心・態度

- ・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題に関心をもち、その解決を自身の研究テーマと結びつけて考える意欲を有している。
- ・研究倫理を遵守すること、および研究成果を社会的に還元することの重要性を理解している。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①知識・技能

- ・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題を理解するための基礎的な素養である英語関連科目と、社会科学系、情報科学系、人間科学系の複数の教員が共同で担当することで現代社会に対する多角的な視点を提供する「社会情報学特論」を課程全体の基礎科目として配置する。
- ・社会情報学コースでは、社会科学系、情報科学系、人間科学系の各領域に対して、社会情報学部での学びの延長線上に特論科目を専門科目として配置する。あわせて複数領域を跨ぐ履修モデルを提供することで、従来の学問領域の枠にとらわれない幅広い視野で現代社会の諸問題に多視点的にアプローチできる専門的な知識と技能の獲得を目指す。
- ・ヒューマンイノベーションコースでは、認知科学の基礎を理解するための概論科目、研究に関わる一連の技法の習得を目指す実習科目を基礎科目として配置したうえで、現場における学習現象の分析・理解に有用な専門科目を精選して配置することで、学習現象に対する科学的な理解と、現場についての実践的な理解を密接に関連させて研究を進めることのできる力量の形成を目指す。

②思考力・判断力・表現力

- ・「人間、社会、情報」の各領域を跨ぐ複雑な現象に学術的にアプローチしていくための分析の進め方や発想の仕方、および研究成果の効果的な発表方法などを、研究指導教員による個別指導を通して学ぶ研究指導科目を配置する。

③意欲・関心・態度

- ・研究指導科目における指導教員の個別指導を通して研究倫理、社会貢献に関する知識と意識を高めることを目指す。
- ・研究と実社会との接続を具体的に考える機会として「インターンシップ特別実習」を特殊科目として配置する。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

①知識・技能

- ・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題を分析的に把握し解決を試みるために必要な学術的知識・技能を身につけている。その上で1つ以上の専門領域について、十分理解できる。
- ・社会情報学コースにおいては数理的素養、論理的思考、コミュニケーション能力および情報の活用に関する十分な知識・技能を身につけている。
- ・ヒューマンイノベーションコースにおいては「学習」および「組織・コミュニティ」に関する理論

と研究方法について、十分な知識・技能を身につけている。

②思考力・判断力・表現力

- ・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題の解決を多角的に検討することのできる複眼的な思考力・判断力を有している。
- ・学術研究について、専門を共有していない相手に対しても的確かつ分かりやすく説明することのできる表現力を有している。

③意欲・関心・態度

- ・研究テーマに直接関連する事象だけではなく、より広い社会の諸問題を視野に入れて学習・研究を進めることができる。
- ・研究倫理を遵守して研究に取り組むことができる。
- ・研究成果を広く社会に還元する意欲を持っている。

他研究科および各専攻の教育研究上の目的やポリシーは、本学ウェブサイトにてご確認ください。

<https://www.aoyama.ac.jp/>

個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、①願書受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続きとこれに付随する業務を行うために利用します。

教員組織

大学院社会情報学研究科

研究科長 長橋 透

社会情報学コース（コンビナー： 宮治 裕 ・ 寺尾 敦 ）

氏名の前の○印は 2027 年度入学者研究指導教員

※出願に伴い、必ず志願票に記載する希望指導教員と事前相談を行うこと（P. 16 参照）

事前相談の申込期限は 2026 年 12 月 1 日までとする。

なお、大学院説明会での個別面談でも可とする。

研究指導教員		講義科目（予定）
教授	○ 飯島 泰裕	情報社会特論 コンピュータシステム特論
	○ 石田 博之	環境エネルギー情報特論 経済シミュレーション特論
	○ 伊藤 一成	データベースシステム特論 ウェブテクノロジー特論
	○ 伊藤 由樹子	応用経済特論 I 社会人間特別講義（C）
	稲積 宏誠	データマイニング特論 ナレッジマネジメント特論
	○ 清成 透子	組織心理学特論 行動科学特論
	○ 寺尾 敦	社会統計特論 ウェブラーニング特論
	長橋 透	経済政策特論 応用経済特論 II
	南部 和香	環境エネルギー経済特論 公共経済学特論
	○ 伏屋 広隆	アクチュアリー特論 数理ファイナンス特論
	○ 皆木 健男	コーポレートファイナンス特論 インベストメント特論
	○ 松澤 芳昭	システム分析・設計特論 社会情報特別講義（C）
	○ 宮治 裕	プログラミング応用特論 コンピュータネットワーク特論
	○ 村田 和義	ヒューマンインタフェース特論 人間情報特別講義（B）
	Lambacher, S. G.	学術英語特論（A）
准教授	○ 上阪 彩香	人間情報特別講義（A） 人間情報特別講義（D）
	○ 大林 真也	社会調査特論 社会変動特論
	○ 勝村 史昭	社会人間特別講義（A） 社会人間特別講義（B）
	○ 川上 拓志	数理モデリング特論 離散数学特論
	○ 高村 正志	現象の数理特論 構造幾何学特論
	○ 吉田 葵	社会情報特別講義（A） 社会情報特別講義（D）
		米山 明日香

ヒューマンイノベーションコース（コンビナー： 高木 光太郎 ）

氏名の前の○印は 2027 年度入学者研究指導教員

※出願に伴い、必ず志願票に記載する希望指導教員と事前相談を行うこと（P.16 参照）

事前相談の申込期限は 12 月 1 日までとする。

なお、大学院説明会での個別面談でも可とする。

氏 名		講 義 科 目（予定）
教 授	○ 高木 光太郎	状況的学習特論 状況的学習実践研究 学習学研究法Ⅱ 学習学原論
	○ 香川 秀太	ポスト資本主義の理論と現場

その他講義科目（予定）

社会情報学コース	ヒューマンイノベーションコース
社会情報特別演習	社会情報特別演習
社会情報学特論	アフォーダンス特論
	人間理解のための現象学入門
	学術英語特論（B）
	創造的熟達論
	非営利組織の知識経営
	学習学研究法Ⅰ
	学習学研究法Ⅳ

博士前期課程

募集人員

社会情報学専攻

社会情報コース 若干名 (就学キャンパス：相模原)

ヒューマンイノベーションコース 若干名 (就学キャンパス：青 山)

募集方針

社会情報学研究科社会情報学専攻博士前期課程は、社会情報学部卒業生のうち、学部4年生の時に大学院授業科目特別履修生制度を利用し大学院科目を受講した学生を本入試にて受け入れていきます。

出願資格

社会情報学部在学時に本研究科科目特別履修試験に合格し、大学院授業科目特別履修生として大学院科目を受講した者で、既に大学を卒業し、科目特別履修後10年以内の者。(経過年数は出願時点とする)

※出願にあたっての注意事項

必ず希望する研究指導教員と事前相談を行い、志願票に署名・捺印をもらうこと。(希望指導教員の自署・捺印が無い場合は出願無効となります。)ただし、教員と直接のやりとりが困難である場合には、特別に希望指導教員の承認がわかるもの(教員とやり取りのメール文をプリントアウトしたものなど)を出願書類に同封すれば、教員の署名・押印は特別になくてよいものとします。

試験科目

口述試験(書類審査を含む)

出願書類 *P.15 注意事項参照

①入学志願票(本学所定用紙)

②写真1枚(脱帽上半身、背景なし、タテ4cm×ヨコ3cm、カラー写真、最近3ヵ月以内に撮影
入学志願票の所定欄に貼付)

※当該写真は、入学手続き時に、出願時と同一の写真データ(jpgまたはpng形式)をアップロードしていただきます。そのため、写真のデータ版もあらかじめ取得・保管しておいてください。

③成績証明書・卒業証明書

※本学に編入学した者は編入学以前の証明書も提出してください。

※本学学部・大学院出身者の証明書は学務課で代理発行するため、提出不要です。

④研究計画書(本学所定用紙。本専攻出願動機及び入学後の研究テーマと研究計画についてA4判4枚、4,800字程度にまとめる。※タイピング推奨)

⑤職歴・実務歴報告書または自己アピール書(様式自由)

⑥研究指導教員内諾届(1年修了希望者のみ必須)※P.15注意事項の⑥も併せてご確認ください。

注) 未提出の場合は、1年修了候補者とはなりませんのでご注意ください。

⑦受験票送付用封筒1通 **※封筒種類に注意**

【長形3号封筒(120mm×235mm)】

必ずボールペンにて**住所・氏名を明記**のうえ、**110円切手を貼付**してください。

⑧入学検定料の収納証明書

※クレジットもしくはコンビニで入学検定料を振り込んだ際に受け取った収納証明書を、収納証明書貼付用紙(本学所定用紙)に貼り付けて提出してください。金額が訂正されたものは無効です。

⑨宛先ラベル ※合格した場合の手続書類送付先を正確に、見やすくご記入ください。

【上記以外の任意提出書類】

① 自己の学力及び能力を証明するもの **【各種資格の取得証明書など】**

② その他アピールになるとと思われる資料

入学検定料

35,000円

支払方法

1. コンビニエンスストアまたはクレジットカードでのお支払
P.12「コンビニ端末での入学検定料支払方法」または
P.13「クレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照のうえ、お支払いください。
2. 出願受付後、入学検定料は原則返還いたしません。

出願手続および期間

出願はすべて郵送受付とします。

〔受付期間〕 2026年12月15日(火) ~ 12月17日(木)

出願者は、出願書類一式を角形2号封筒(240×332mm)に入れ、**簡易書留・速達**で郵送してください。
郵送の際は、封筒の表に必要な事項を記入した**所定の出願用封筒表紙**を貼り付けてください。

〔注意事項〕

1. **消印有効です。**受付期間を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
2. 必ず簡易書留・速達とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。**受験票は、本人宛に郵送します。**但し、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。
試験日の3日前までに届かない場合には、学務課(042-759-6072)までお問合せください。
3. **一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。**
4. 出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。白黒印刷の場合は上部「速達」部分を赤線で囲ってください。

〔送付先〕 ※出願時には所定の出願用封筒表紙を使用してください。

青山学院大学 相模原事務部学務課 社会情報学研究科担当 行
〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1 TEL 042-759-6072 (ダイヤル)

入学試験日

2027年1月23日（土）

入学試験場

試験は、青山学院大学 青山キャンパスもしくは相模原キャンパス※ で実施します。

なお、試験教室の詳細は、出願後にお送りする受験票を確認してください。

※今後の世の中の状況（感染症等）につき、変更になる可能性もあります

試験科目および試験時間

試験科目は「口述試験」です。選考には、さらに「書類審査」が加わります。

なお、試験時間の詳細は、出願後にお知らせします。

また、試験時間に遅刻した者は、受験資格を失います。

合格発表（WEB）

合格発表を以下の通り、本学WEBサイトにて行います。

2027年2月12日（金）発表

* 合否判定の方法及び基準

提出書類、口述試験により、アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、合否を判定します。

合格者のみ、入学手続き書類をお送りいたします。宛先は出願時に提出いただく宛先ラベル記載箇所となりますので、間違いのないように正確に記載してください。

WEB合格発表から5日経ち、合格者一覧に記載があるにも関わらず書類が届かない場合は、学務課 社会情報学研究科担当に問合せください。

「入学手続き書類」の不着、遅配等の事故を理由とした入学手続き期間の延長は認めません。

※合格発表は以下本学公式サイトで行います。必ず受験結果の合否をご確認ください。

大学院入学試験等に関するお知らせ | 青山学院大学 (aoyama.ac.jp)

<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>

入学手続

合格者は下記期日までに、入学手続を完了してください。

2027年3月1日（月）（消印有効）

1. 合格者には、入学手続き書類を郵送いたします。
入学手続要項にしたがい、入学手続締切日までに手続を完了してください。
2. 入学手続に際しては入学手続納入金の他に下記のものが必要になります。詳細は入学手続要項を参照してください。
 - ・誓約書（本学所定用紙）
 - ・住民票または住民票記載事項証明書（外国籍者で住民票が発行されない者は外国人登録原票記載事項証明書）（最近3カ月以内発行のもの）
 - ・学籍資料票（本学所定用紙）
 - ・学生通学住所登録用紙（本学所定用紙）
 - ・写真1枚（ $4\text{cm} \times 3\text{cm}$ 、カラー写真：学生証作成用）
 - ・振込通知書（入学手続用本学所定用紙）（金融機関の収納印の押された大学院提出用）

コンビニ端末での入学検定料支払方法


下記のコンビニ端末にてお支払いください

1
お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育


↓

入学検定料等支払


LAWSON
Loppi

<https://www.lawson.co.jp> <https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

↓

学び・教育・各種検定試験

↓

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。


2
お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

②お支払い後、**チケットとレシートの2種類**をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。



*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途がかかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	605円
	入学検定料が5万円以上	825円

3
出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感謝・感状紙などを変色させる場合があります」と記載のある際は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

クレジットカードでの入学検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。VISA  JCB      NicoS

インターネット申込
クレジットカード決済



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

1. トップページ	「申し込む」ボタンをクリック
2. 研究科選択	研究科を選択してください。
3. 入試選択	受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック
4. 留意事項	留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック
5. 基本情報入力	申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック
6. 申込内容確認	申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック
7. 受付番号確認	受付番号(12桁)を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック (登録されたメールアドレスにも通知されます。)
8. クレジットカード情報入力	支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック *お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。
9. 決済完了	完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。 *メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

出願

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください。
「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

学費等納入額の内訳について

2026年度入学者用を参考として記載します。2027年度入学者の学費等詳細については、合格発送に同封する入学手続要項に記載します。

学費等納入額内訳（2026年度参考）

	費目	金額	備考
学 費	入学金	0円	本学出身者は免除
	授業料	275,000円	年額550,000円
	在籍基本料	40,000円	年額80,000円
	施設設備料	37,500円	年額75,000円
	教育活動料	50,000円	年額100,000円
	小計	402,500円	
諸 会 費	後援会費	2,500円	年額5,000円
	校友会費	0円	本学出身者は納入不要
	学会費	2,500円	年額5,000円
	小計	5,000円	
入学時納入金合計		407,500円	(後期分含まず)
初年度納入金合計		815,000円	後期分 407,500円を含む

(消費税は課税されません)

◎印の校友会費は、退学、除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還をうけることができます。

備 考

1. 学費等の改定について

今後、経済情勢に応じ学費等の改定が行われた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。

2. 授業料後払い制度について

国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、青山学院大学学生生活部学費・奨学金課（03-3409-7945）syougakukin@aoyamagakuin.jpまでご連絡の上、出願期間中に必要な手続きをとってください。※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は対象外です。

【申請要項URL】 ※2026年度入学者参考

https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2025/03/af_scholarship_26atobarai1.pdf

【申請要項QRコード】 ※2026年度入学者参考



3. 入学辞退について

本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学辞退することになった場合、入学金を除く納入金を返還いたします。詳しくは、合格者にお送りする「入学手続要項」をご覧ください。入学辞退締切日は2027年3月31日（水）17時です。

注意事項

- ① 志願者自身が作成した文章を提出してください。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出を禁じます。
- ② 希望する研究指導教員と事前に連絡をとり、志願票に署名・捺印をもらうこと。（希望指導教員の自署・捺印が無い場合は出願無効となります。）ただし、教員と直接のやりとりが困難である場合には、特別に希望指導教員の承認がわかるもの（教員とやり取りのメール文をプリントアウトしたものなど）を出願書類に同封すれば、教員の署名・押印は特別になくてよいものとします。
- ③ 一旦受け付けた書類及び入学検定料などは一切返還しません。
- ④ 障がいや疾病、怪我などにより受験及び修学上の合理的配慮が必要な場合、「障がいのある学生の受入れ方針」に基づき、受験時に合理的配慮を提供します。合理的配慮を希望する方は、出願期間前に学務課社会情報学研究科担当に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求められることがあります。
- ⑤ 入学試験に合格し、大学院に入学した際には、16単位を限度に学部4年時に大学院授業科目特別履修生として履修した科目を大学院科目として単位認定をします。但し、カリキュラム変更により単位認定対象科目が無い場合には、単位認定ができない科目が発生する場合がありますので予めご了承ください。
- ⑥ 1年修了を希望する場合、出願時に「研究指導教員内諾届」を提出する必要がありますが、直接希望する指導教員に署名・押印を依頼することが難しい場合、メール等で承認を得られたことが分かる画面をプリントアウトして、提出してください。
- ⑦ 入学後1年間での修了を希望し、出願時に「研究指導教員内諾届」を提出して入学した場合でも、入学時点で1年修了を確約するものではありません。1年間で本研究科が規定する修了要件をすべて満たした場合に限り、1年での修了が可能となります。
- ⑧ 受験、入学手続などに関することは、相模原事務部学務課社会情報学研究科担当[直通電話 042(759)6072]に問い合わせてください。但し、可否に関する問い合わせには一切応じません。
- ⑨ 各種資格(司書、社会教育主事、学芸員)の取得に関連する内容での不明な点については、出願前に学務課教職課程担当[直通電話 042(759)6032]に問い合わせてください。
- ⑩ 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。但し、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
- ⑪ 大学院入学試験に関する情報は本学ウェブサイト下記 URL でお知らせします。
<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/>

社会情報学研究科受験に際する事前相談について

社会情報学研究科の募集においては、本研究科の幅広い専門性のため、受験してくださる皆さんの本来やりたい研究や研究をやろうと考えている前提条件などが提出していただく書類だけでは、十二分に伝わりづらいことがあります。

つきましては、受験をご検討の皆さまにおかれましては、希望指導教員との事前相談を推奨いたします。事前相談では、受験の意図、様々な研究活動の可能性、研究科の指導内容や指導体制のマッチングについて、ご相談いただけます。充実した研究や学習を大学院生活で行えるように、ぜひ積極的に事前相談を受けられることをお勧めします。

また出願にあたっては、希望指導教員との事前相談を必須としています（大学院説明会での個別面談も可）。ご自身の研究テーマや計画が指導分野と合致しているか、必ず事前に確認を行ってください。なお、事前相談は合否に関係ありません。

<相談方法>

次のいずれかを選択し、メールで以下連絡先までお申込みください。

(1)研究科全般に関する事前相談 ※直ちに受験を予定していない場合はこちら(随時申込可)

(2)出願に伴う事前相談 ※当該年度受験予定者はこちら(注意事項参照)

お申込みの際には、次の情報をメールの件名・本文に記載してください。なお、(2)を選択の場合は必ず全項目記載が必要です。

【件名】社会情報学研究科 研究科全般に関する もしくは 出願に伴う 事前相談希望

【本文】①氏名(フリガナ)

②学位の有無 ※有の場合は種別(学士・修士 等)と出身大学を記載

③現在のご所属(通学先・勤務先等)

④希望指導教員名 ※(1)を選択し、未定の場合は不要

⑤受験予定の入試種別、時期(第1期もしくは第2期) ※(1)を選択し、未定の場合は不要

⑥進学後の研究テーマ・研究計画(概要)

【連絡先】

博士前期課程

社会情報学 (SI) コース

in-gssi@aoyamagakuin.jp

ヒューマンイノベーション (HI) コース

hi-info@si.aoyama.ac.jp

博士後期課程

in-gssi@aoyamagakuin.jp

<注意事項>

- ・全入試種別において、出願される方は志願票に記載する希望指導教員との事前相談を必ず行ってください。
- ・出願に伴う事前相談は当該年度の4月1日よりお申込み可能です。申込期限は出願予定年度の募集要項を必ずご確認ください。期限後は受付致しかねますので、余裕をもってお申し込みください。
- ・募集要項は毎年6月より順次公開予定です。希望可能な指導教員を募集要項にて必ずご確認ください。教員の就任・退任等、やむをえない事情で前年度実施入試時点から変更となる可能性がありますのでご了承ください。
- ・事務窓口停止日についてはお取り扱いができませんので、ご注意ください。

<窓口停止日：土・日・祝および指定日※以下ホームページでご確認ください>

休業及び入試期間中の事務取扱時間・閉室情報(スチューデントセンター) | 青山学院 大学
(aoyama.ac.jp) <<https://www.aoyama.ac.jp/life/schedule/contact>>

- メール送信後、休祝日を除く 3 営業日以内に返信がない場合にはメールの再送、もしくはお電話 (042-759-6072)にてご連絡ください。

以上

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

青山学院大学大学院社会情報学研究科

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

電話 042-759-6072 (ダイヤルイン)

氏名

受験番号 ※記入不要

◎下記すべての項目について必ず記入すること。(但し、論文を書いていない場合は題目の記入不要。)

卒業論文題目	
修士論文等題目	
学部における主な研究内容	
研究科における研究内容(博士後期課程志願者のみ記入)	
入学後の研究主題及び研究計画の概要	
研究指導を希望する教員名 (要項に記載された教員1名)	※教員と直接のやりとりが困難である場合には、特別に希望指導教員の承認がわかるものを同封することで署名・捺印に替えることも可。 その場合、教員名を必ず自身で記入すること。
修了後の進路希望(具体的に記入すること)	

2027 年度 社会情報学研究科博士前期課程
(クレジット・トランスファー入学試験)
研究計画書

受験番号	※
------	---

※記入不要

入学試験種別	クレジット・トランスファー	フリガナ	
入学希望コース		氏 名	

↓本文はここから書いてください

研究指導教員内諾届

受験番号
※

※事務使用欄のため記入不要

青山学院大学大学院
社会情報学研究科長 殿

志願者名 _____

上記の志願者は下記の理由より私が研究指導教員となります。
(志願者の性格、能力、実績などについて記入してください。)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日
研究指導教員署名 _____ (印)

収納証明書 *コンビニエンスストア支払いもしくはクレジットカードでの支払い

貼付用紙

◎枠内を記入してください。

【入学検定料】

研究科		専攻	専攻
受験番号 (記入不要)		課程 ○で囲む	博士前期 ・ 博士後期
フリガナ		連絡先	()
氏名			

※連絡先には日中連絡が付きやすい電話番号を記入のこと

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、はがれないように全面のり付けしてください。

収納証明書 貼付欄

はがれないように全面のり付けしてください。

支払方法 (当てはまるものに○をつけてください)

- ・ コンビニ
- ・ クレジット

宛先記入ラベル

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

(住所) _____

(氏名) _____ 様

研究科	コース

<注意事項>※ 宛先住所・氏名・志願研究科・コースを記入してください。
※ 宛先の「様」を「行」に訂正しないでください。

宛先記入ラベル

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

(住所) _____

(氏名) _____ 様

研究科	コース

<注意事項>※ 宛先住所・氏名・志願研究科・コースを記入してください。
※ 宛先の「様」を「行」に訂正しないでください。

※ページ中央線で切り取り、ラベル部分のみご提出ください。

簡易書留・速達料金分の切手を貼ってください。

速 達

2 5 2 - 5 2 5 8

神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1

青山学院大学相模原事務部学務課

社会情報学研究科担当 行

簡易書留

速達

「コース」「課程」「区分」「期別」は該当するものを○で囲んでください。

差 出 人	志 望	研 究 科	社 会 情 報 学
		専 攻	社 会 情 報 学
		コ ー ス (博士前期課程のみ)	社会情報学・ヒューマンイノベーション
		課 程	博士前期
		区 分	クレジットトランスファー
		期 別	クレジットトランスファー
住 所	〒	—	電話 ()
	氏 名	フリガナ	

《注意事項》

1. 出願書類は募集要項で確認し、漏れのないよう点検してからお送りください。
2. 郵便局窓口で簡易書留・速達扱いの手続きをして郵送してください。
3. 願書受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。